



2023 GOP 活動報告書



ギラヴァンツ オープンマインド プログラム

もくじ

■はじめに . . . P2

■活動概要 . . . P3

■2023 年度 GOP 活動内容

1. GOP 活動参加者交流会 . . . P4
2. GOP ホームゲーム設営ボランティア活動 . . . P4
3. GOP ホームゲーム観戦体験 . . . P7
4. GOP ホームゲームボランティア体験 . . . P10
5. GOP 運動体験 . . . P13

■2023 年度 GOP-J（ジュニア）活動内容

1. GOP-J あいおい教育支援室ミクスタ見学&運動体験 . . . P16
2. GOP-J わかぞの教育支援室ミクスタ見学&運動体験 . . . P18
3. GOP-J くろさき教育支援室スペース LABO 見学&運動体験 . . . P16
4. GOP-J かなだ教育支援室ミクスタ見学&運動体験 . . . P22
- ・各教育支援室ミクスタ見学&運動体験 総評 . . . P25
5. GOP-J サッカー観戦&ボランティア体験 . . . P26

■GOP、GOP-J 活動総括

- ・イベント参加者数（推移） . . . P29
- ・アンケート結果集約 . . . P31

■ギラヴァンツひまわりプロジェクト . . . P32

■添付資料、GOP サポートメンバー紹介 . . . P34

2023 年度 GOP 活動報告書

■はじめに

7年目を迎えた2023年度のGOP活動は、11月17日のGOP運動体験をもって無事終了することができました。3年に及んだコロナ過がやっと終焉し、より活性化した本活動にご協力頂きましたGOPサポートメンバーの皆様及び関係者の皆様には、心から感謝申し上げます。

さて、本年度のGOP活動では、GOP-J ミクスタ見学&運動体験における浅野潮風公園での運動体験の開催がありました。くろさき教育支援室を対象としたミクスタ見学&運動体験を実験的に、スペースLABO 見学&ギラパーク東田での運動体験に変更しました。また、GOP-J ホームゲーム観戦体験では、観戦講座にて、参加者の皆様に黄色の画用紙に字を書きこんでもらい、即席の横断幕を作成しました。試合前に参加者の皆様にこれを掲げました。

GOP サポートメンバーを含めた本活動への参加者延べ数では、昨年の250名から294名へと44名もの増加となりました。GOPの参加対象者延べ数（ひきこもりがちな人）は、47名から62名へと15名の増加となり、GOP-Jの参加対象者延べ数（不登校ぎみな児童生徒）は、91名から109名と18名の増加となりました。また、本年度のGOP（ひきこもりがちな人）参加者の中で初めての参加者が増えている点がとてもポジティブでした。

参加者の増加は、活動の一つの成果指標と言えるとは思いますが、より大切なのは、GOP サポートメンバーや関係者の皆様によるご協力の下、本活動が7年間も継続できていることと、今後も継続させていくことだと考えます。

本年度のGOP活動を10回実施した各プログラムを振り返りながらご報告させていただきます。

【活動概要】

GOP (Giravanz Openmind Program)

ギラヴァンツオープンマインドプログラム

2017 年に北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷとギラヴァンツ北九州のコラボ事業としてスタート。「観る、する、支える」というスポーツの三つの側面を体験していただくことで本プログラムの対象となるひきこもりがちな人達が心を開き、彼らの社会復帰に寄与することを目的とした活動。

主催：北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ

共催：北九州市、北九州市子ども・若者応援センターYELL

協力：(株) ギラヴァンツ北九州、(一社) 街に心の栄養を、響都創研 8 k、小倉東ロータリークラブ
(株) エイジェック、他

GOP-J (Giravanz Openmind Program for Junior)

ギラヴァンツオープンマインドプログラム フォージュニア

2019 年に小倉東ロータリークラブから協力要請があり、不登校ぎみな児童生徒を対象とした活動がスタート。市内にある 4 つの少年支援室を対象に始まった本プログラムは、GOP が 18 歳以上の大人が対象になる活動に対して、18 歳以下の児童生徒を対象とした活動である。内容は、GOP とほぼ同様であり、不登校ぎみな児童生徒の社会復帰が活動目的となる。

共催：小倉東ロータリークラブ、(株) ギラヴァンツ北九州

協力：北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ、(一社) 街に心の栄養を、響都創研 8 K、
キタキュースタイル、(株) エイジェック、北九州市子ども・若者応援センターYELL、他
後援：北九州市、北九州市教育委員会

GOP 活動は 2019 年北九州市未来都市アワード「SDGs 賞」企業部門を受賞しました。

【2023 年度 GOP 活動内容】

Ⅰ. GOP 活動参加者交流会（昨年につき第 2 回目）

〈日 時〉 2023 年 8 月 20 日（日）13:00～15:00

〈会 場〉 戸畑生涯学習センター

〈参加者〉 ①対象 10 名 ②サポートメンバー 5 名 ③NPO 法人 STEP・北九州 5 人
総数①+②+③ 20 名



参加者 20 名を 3 つのグループに分け、下記のテーマを各グループで意見交換会し、グループ内で出された意見をまとめて発表する形で進められた。参加者は、GOP 活動対象者（10 名）、すてっぷ職員（5 名）、GOP サポートメンバー（5 名）の 20 名が 3 つのループに均等に分けられた。

以下、テーマと回答を拾ってみた。

テーマ 1. 「GOP を知ったきっかけと参加動機」

- ・ギラヴァンツ北九州の HP から GOP の事を知った。ボールを蹴りたかった。
- ・すてっぷのスタッフから教えてもらった。みんなで応援している一体感を感じてチームになれる気がした。
- ・子どもがギラヴァンツ北九州のスクールに通っていた。
- ・リアルがあって活動してゆける。
- ・すてっぷに通っていて知った。
- ・民生委員として参加した会議から参加。
- ・何でもいいからやってみようとの思い。
- ・若者サポステに務めていた時に関わった。

テーマ 2. 「GOP で楽しかったプログラム・きつかったプログラム」

- ・運動体験、ミニサッカーでは、息が切れるほど必死になれた。
- ・いいリアルがある。感情がぶつけられる。
- ・設営ボランティア、支えている一体感があつた。
- ・GOP にみんなで行く、みんなでやる楽しみ。直接かかわることが好き。
- ・外出をするきっかけになっている。人とつながる機会になっている。

- ・「実体験（リアル）」が大切だと思う。
- ・観戦体験、解説が贅沢で良かった。勝つとさらに一体感。
- ・運動体験は少しきつかった。でも、だから楽しかったのかも。
- ・観戦講座は、日陰がいい。女性や体が弱い人には日差しが辛い。

テーマ3. 「GOPに参加して変わったことがあるか?」

- ・サッカー観戦後、自分も頑張ろう、頑張れる! となれる。
- ・GOPに行く、外に出るきっかけになった。
- ・躊躇するタイプであったが、応募してみよう、申し込んでみようと思えるようになった。
- ・球場に行くと感情が沸き起こる。そして通い続けると選手を知りたいと思うようになった。
- ・自然に人と交流する時間がとれるようになった。
- ・ギラヴァンツ北九州の事が気にかかるようになった。
- ・率先して声掛けができるようになった。例：ゴミをこちらにどうぞと誘導。
- ・普段触れないジャンルに触れることで視野が広がった。

テーマ4. 「GOP活動へ参加しやすくするための工夫及びGOPを知って頂くためのアイデア」

- ・まわりが熱くて応援に入りづらい、人間関係が出来上がっており、入るのにハードルを感じる。
- ・つながりを広げる⇒旗を振っている人たちにひきこもりを知って欲しい。
- ・運動体験を平日に行わず土日祝日に開催してくれたら行きやすい。場所（北体育館）が行きづらい。
- ・GOPのチラシを3つのイベントが全て掲載されている形からイベント毎に3種類のチラシを作成。
- ・チラシに参加者の声や動画などを入れて、GOPのイメージが伝わるものにする。
- ・ギラヴァンツ北九州の公式HPにてもっと大きく宣伝して欲しい。
- ・サッカーを敢えて外して魅力を伝える
- ・ギラヴァンツ北九州がもっと市民受け入れられること。

テーマ5. 「今後のGOP活動に期待したいこと」

- ・いろんな人との出会いに期待。スポーツは心を開く。サッカー以外のスポーツの人に伝える。
- ・音楽×サッカー
- ・ギラヴァンツ北九州選手との交流会
- ・つながりを持てたと思える活動⇒定期的な集まり。
- ・ネット等でギラヴァンツについて話せるGOP参加者のコミュニティーを作る。
- ・チラシに参加者の感想を載せる⇒仲間ができた、気持ちが前向きになった等。
- ・多くの人にバーチャルな世界ではなく、「自分が」するリアルな世界を味わってもらいたい。
- ・感情を表現し、心の一体感を感じ、みんなと繋がる楽しい体験をしたい。

〈所感〉

初めて参加する対象者は2名、非常に活発な意見交換会となった。対象者の皆さんからは、一体感や人との繋がり、リアルな体験等、GOP活動の「キーワード」が自発的に発せられていた。私が思っている以上にGOPが対象者の皆様へ与えている「狙い」ポジティブな影響が大きい事を確認できた。

しかし一方、最後のフリートーク時間では、3つのグループの人たちが敢えて場所を変え、他のグループに入って話をする状況が足りなかったとも感じた。テーマ毎にグループメンバーを入れ替えた方がフリートークの時間では、更に良い環境を作れたのではないかと感じた。

2. GOP ホームゲーム設営ボランティア活動

〈日 時〉2023 年 9 月 16 日（日） 9：30～12：00（14：00～kick off）

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈活動内容〉ピッチ内スポンサー横断幕の取り付け、コンコース掲示物の取り付け、座席拭き等

〈参加者〉①対象者 9名 ②サポートメンバー 2名 ③すてっぷ+エール職員 2名

総数①+②+③ 13名

〈所 感〉

本プログラムの対象者は、比較的社会復帰が近い人達であり、就業している方もいる。

通常はギラヴァンツ北九州の職員がホームゲーム当日に行っている設営準備作業を職員と一緒に実施した。作業内容は、スタジアム座席の拭き掃除とスタジアムのスポンサー横断幕の取り付けという重労働を 2.5 時間実施した。作業強度が高すぎないかとの懸念もあったが、参加者の皆様は、職員や一般ボランティアの皆さんとほぼ同化した状況で作業を遂行した。結果として何の問題もなく無事作業を終了した。作業終了後、帯同職員の方から、この活動が参加対象者の皆様にとって自信を深める良い機会になっているとの感想を聞いた。



3. GOP ホームゲーム観戦体験

〈日 時〉 2023 年 10 月 8 日（日） 13：00～16：00

ギラヴァンツ北九州 v s カターレ富山 14：00～キックオフ

〈会 場〉 ミクニワールドスタジアム北九州

〈スケジュール〉 12：00～13：00 観戦講座（記者会見室）

13：00～14：00 観戦場所への移動及び食事等自由時間

14：00～16：00 レシーバーを使った実況と解説を聞きながらの試合観戦

〈参加者〉 ①対象者 14名 ②GOP サポートメンバー 8名 ③すてっぷ+エール 5名

総数①+②+③ 27名

・主催者挨拶：すてっぷ 田中センター長



・GVK 挨拶：ギラヴァンツ北九州 石田社長



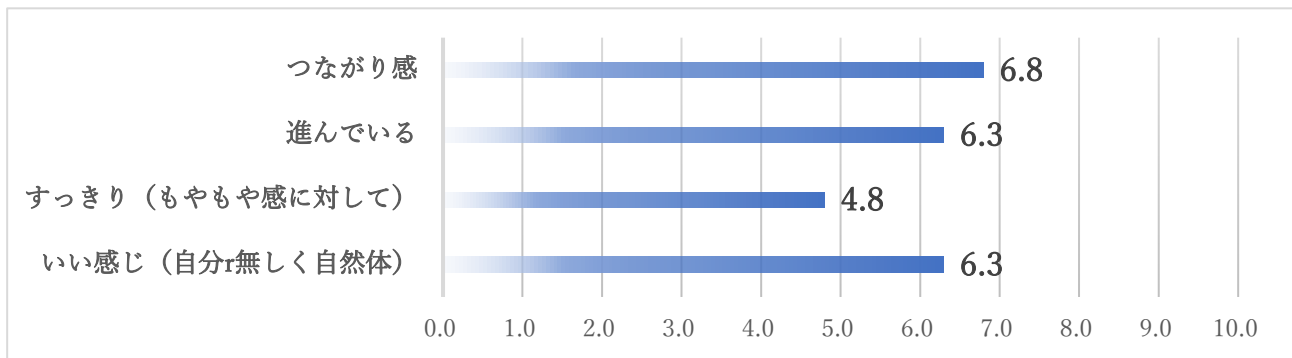
・観戦講座：池高選手（左）中山選手（右）



・選手入場前のスタジアム



〈参加対象者 14 名中 12 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」という感覚を 0～10 までの数値で表したもの：平均値 6.1

〈所感〉

7 年目となったホームゲーム観戦体験は、記者会見室にて観戦講座からスタートした。サッカーをより楽しく観戦するための豆知識や心構え、さらには、オフサイド等のルール説明があった。喜びや怒り等、スタジアムは、自分の感情を直接表現できる場所であることを強調した。講座の最後では、池高選手と中山選手のサプライズ出演があった。選手への質問コーナーでは、プロサッカー選手になるための秘訣は？北九州で美味しいと思った食べ物は？練習していないときは何をしていますか？等多くの質問があった。

この日の対戦相手は、カタレ富山だった。前半は、ギラヴァンツ北九州に大きなチャンスがいくつか訪れるが、シュートがバーに嫌われたり、キーパーのビッグセーブがあったり、得点に結びつけることができない。後半は、立ち上がりに富山がフリーキックから鮮やかにゴールを決め、リードを得る。その後ギラヴァンツ北九州は、ホームの声援を受け、積極的にゴールを狙うが 1 点を取ることができず 0-1 で敗戦となった。

この日のアンケート調査には、試合結果が明確に反映されていた。果敢に攻撃を仕掛けるも最後までゴールを決めなかった試合に対して「すっきり」が 4.8 ポイントと非常に低い値となった。「いい感じ」と「進んでいる」も 6.3 ポイントで普通（5 ポイント）よりも少し良いぐらいであった。「つながり感」が最も高く 6.8 ポイントとなったが、負けた悔しさをスタジアムの他の観客と共有できたという感覚なのかと感じた。

この日は、悔しいサッカー観戦となったが、そもそもサッカーの試合は、殆どのプレーが失敗である。攻める際には、ボールを繋いでゴールに向かうわけだが、殆どの場合、途中で相手にボールを奪われてしまう。プレイヤーも観客もア～とかウ～のため息となる。このストレスは、溜まれば溜まるほど成功時の喜びは大きくなり、爆発する。プレイヤーが点を取った時、勝利の試合終了時のホイッスルは、選手も観客もその喜びを爆発させる。時には、知らない人とハイタッチしたり、抱き合ったりもする。サッカー観戦は、正にストレスと喜びの表裏である。また、その感情を他の観客と共有できるスタジアムは、その怒りと喜びの感情を思いっきり開放できる場所でもあり、他人と繋がることのできる場所でもある。

〈試合終了後アンケート調査の記述より〉

Q "いま、どのような気分ですか？" に対する回答例

- ・ 明るい気分です。とにかく参加して良かったです。サッカー場は、とても明るく底知れないパワーを受け入れました。また同じような企画があれば参加したいです。
- ・ 悔しい気分。点を取るところが見たかった。
- ・ 外でボールを回す時間が多い。もっと中に入れてシュートを打つ回数を多くして欲しい。

- ・ボールを良くとっていたのに最後の所に人がいない。残念！
- ・プロの試合を初めて観る喜び。
- ・普段テレビでしか見たことがなかったので楽しかった。
- ・天候は寒いけど試合は面白かった。
- ・初めてサッカーの試合を観たが地元のギラヴァンツが勝てなくて悔しかった。
- ・負けたことは残念でしたが、次回に期待したいです。
- ・勝てたのに・・・

Q " いま、これを機会に何かをやるとしたら、何をやりたいですか？ “に対する回答例

- ・つながりを感じることが低いタイプなのでもっと知り合いや友達を増やしたいです。スポーツは、気分が晴れるのでスポーツ自体もプレイしてみたい。
- ・何かやりたいと思っているけど具体的ではない。
- ・またサッカーを見に来たい。
- ・ラインズマン等の資格を取りたい。
- ・仕事や資格取得など
- ・特になし。
- ・また、サッカー観戦したいです。



4. GOP ホームゲームボランティア体験

〈日 時〉2023 年 10 月 29 日（日）11:00～17:20

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈スケジュール〉11:00～11:40 オリエンテーション（作業説明、グループ分け等）

12:30～作業開始（スタジアム内エコステーションのゴミ回収）

16:00～試合終了後の作業開始（スタジアム内横断幕撤去、観客席ゴミ拾い、コンコース掲示物及びスポンサーカーテンの撤去等）

17:20～ボランティア体験終了

〈参加者〉①対象者 10 名 ②サポートメンバー 4 名 ③すてっぷ 4 名 ④エール 1 名

参加総数①+②+③+④ 19 名

・ 試合前：グループ分け



・ ボランティア控え室



・ 試合中：エコステーション作業



・ 試合中：エコステーション作業



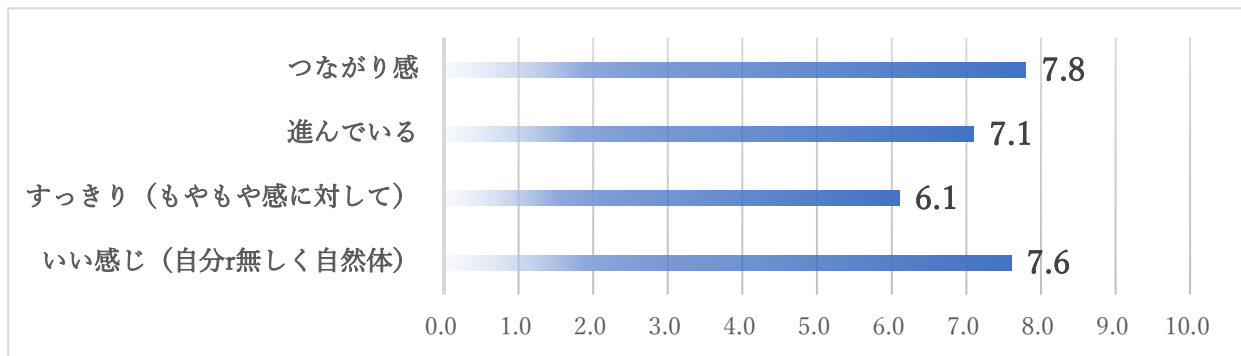
・ 試合終了後作業：横断幕取り外し



・ 試合終了後ゴミ集積場：スタジアムゴミ拾い終了



〈参加対象者 10 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したものの：平均値 7.2

〈所感〉

ボランティア作業は、試合前と試合中そして試合後の後片付けまでであった。試合前と試合中のエコステーションのゴミ回収作業では、全参加者 19 人を 3 つのグループに分け、リーダーを選出し、15 分単位で巡回してゴミを回収した。試合終了後の作業でも参加者を 3 つのグループに分け、第 1 グループはスタジアムの柱や壁のポスター及び座席の告知物を剥がして片付ける作業と、スポンサーカーテンの撤去作業を行った。第 2 グループはスタジアムの座席のゴミ拾い、第 3 グループは横断幕の撤去作業を実施した。

アンケート調査では、昨年よりも平均で 0.2 ポイント高い数値となった。"つながり感" と "いい感じ" で高い数値が出ている。昨年より満足度は高くなっていることが確認できる。

〈アンケート調査の記述より〉

Q "いま、どのような気分ですか?" に対する参加者の回答

- ・スタジアムのゴミ拾いができて皆さんとの繋がりを感じています。試合には、負けましたがゴミ拾いをしているサポーターの姿が印象に残っています。(40 代男性)
- ・積極的に取り組めた。(20 代女性)
- ・ボランティアは、楽しくできました。勝っている所が見たかった。(20 代男性)
- ・みんなとゴミ拾いをしてとても楽しかったです。1 年に一度、顔をおみかけする人達ですが、特に話をするわけでもありませんが、何かホッとする感じがあります。(50 代男性)
- ・悲しい (負けた)。(30 代男性)
- ・少し疲れています。でも充実感で心が満たされています。スポーツにあまり関心がない方でしたが、良さそうと実感しています。参加することの大切さを感じています。(40 代男性)
- ・時間がすぎるのが速かったです。作業は全く大丈夫でした。ギラヴァンツのゴールが見れたら良かったですね。なかなか思うようにはできないですが、頑張ってください。(60 代女性)
- ・自分が観戦した試合は、0 勝 2 敗なので落ち込んでいる。(30 代男性)
- ・私はグループリーダーでしたが、むしろ皆の方がしっかりと頑張ってくれて大変有難い気分です。試合に勝ってくれば・・・(40 代男性)
- ・素直に楽しかったです。ちょっと疲れましたが、いい感じの疲れです。12,934 歩も歩いていました。(50 代女性)

Q “いま、これを機会に何かやるとしたら、何をやりたいですか？” に対する参加者の回答

- ・1人で旅ですかね。考えるより行動です。(40代男性)
- ・もっと話せるようになりたい。(20代女性)
- ・今回で何回目の参加になるだろうか。毎回何をしたら良いのかわからなくなる。(50代男性)
- ・前を向くこと。(30代男性)
- ・スポーツにもっと関心を持った方が良いと思います。とても可能性のあるイベントだと思います。(40代男性)
- ・さて、小さくても目標を何か持ちましょうか。(60代女性)
- ・ラインズマン資格でも取る？その前にJFA会員証を再取得。(30代男性)
- ・特にないです。(40代男性)
- ・ボランティア活動も悪くないなと思いました。(50代女性)

Q” その他ご意見・ご要望があればご記入ください “に対する回答

- ・今日は、参加させていただき有難うございました。日頃できない体験をして楽しかったです。皆さんに感謝です。(40代男性)
- ・次回も参加できればいいと思っています。(50代男性)
- ・特にない(30代男性)
- ・何だか疲れて何だか楽しかったです。良い経験になりました。また参加したいです。(40代男性)
- ・ありがとうございました。(60代女性)
- ・IBUKI北九州コーチ・監督の大石君(元チームメイト)とFACEBOOKで繋がりました。(30代男性)
- ・特にないです。(40代男性)
- ・ギラヴァンツの今後が気になります。(50代女性)



5. GOP 運動体験

〈日 時〉 2023 年 11 月 17 日 (金) 13:30~15:30

〈会 場〉 小倉北体育館

〈参加者〉 ①対象者 19 名 ②サポートメンバー 3 名 ③すてっぷ 4 名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 4 名

参加総数①+②+③+④ 30 名

・運動体験オープニング



・数集まりゲーム



・ボールフィーリング



・グループ対抗的当てゲーム



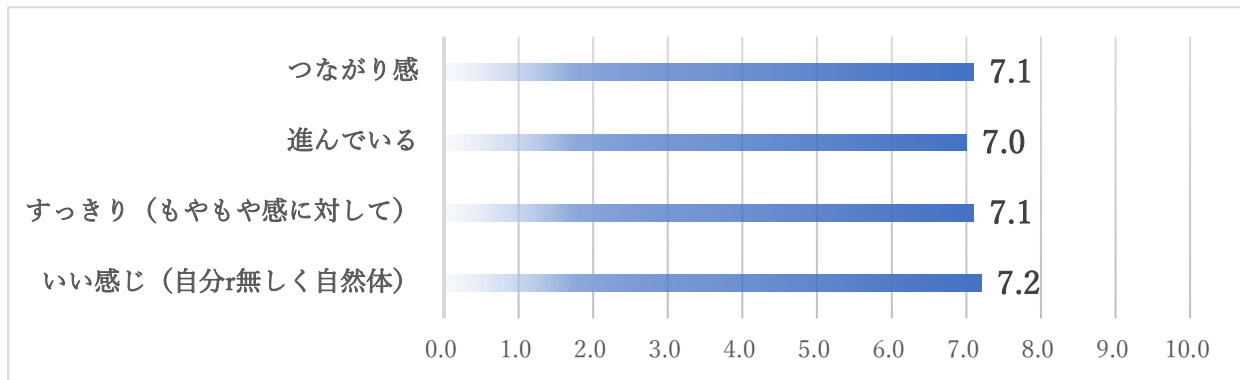
・サッカーゲーム



・サッカーゲーム



〈参加対象者 11 名中 9 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの： 平均 7.1

〈所感〉

昨年に比べて参加者数が倍増し、とても賑やかな運動体験となった。初参加の方々もとても自然に運動体験に参加できていた。何度も参加している参加者は、このイベントをどのように楽しむかを知っているようで、周りの参加者に対してポジティブな声かけをしていた。何より自分が楽しむ方法を知っているのが自分が楽しむ事で他の参加者も楽しませているようであった。

コーチの種目の選択や進め方、声かけもこのイベントを大いに盛り上げた要因であった。運動を楽しむ事が一番大切であることを改めて感じさせるコーチングであった。

運動が楽しいと徐々にヒートアップしてゆく。心拍数や体温も上がる。動かされているから自ら動くことになる。そして、気が付くとへとへとになっている。大きな疲労感と心が開いている状態となると笑顔が溢れ、参加者同士の繋がりが広がる。正に狙い通りの運動体験となった。

〈アンケート調査の記述より〉

Q “今どのような気分ですか” に対する回答例

- ・サッカー出来てよかったです。また参加したい。(20 代男性)
- ・体を動かして気持ちいい感じ。少しずつ体を動かしたい。(50 代男性)
- ・あつい。ボールの蹴り方を教えて欲しい。(20 代男性)
- ・すっきりした気持ち。久しぶりのスポーツで楽しくなりました。(30 代男性)
- ・最後の試合がとてもきつかったですが、最高にいい気分です。ボールを追いかける機会が 1 年に 1 回しかないのが毎年このプログラムが楽しみです。プログラム作ってくださった皆様、有難うございました。(30 代男性)
- ・今は疲れている気分です。これからもこういう機会があれば参加したいと思いました。(10 代男性)
- ・最初は、少し体を動かただけで心臓がバクバク鳴って息も苦しかったが、最後は、そのような感じにはならずにいい感じで運動することができた。(20 代男性)
- ・いつものように疲れしました。(40 代男性)
- ・心が爽快です。汗もかいて清々しいです。又参加したいです。(30 代男性)

GOP も早いもので7年目になりました。

昨年度より、今まで参加されていた方がそれぞれ次の道へ進んでいき、参加が難しくなっていました。そのため、昨年は参加者数が減っていましたが、今年は新規の方々が参加をされることも多く、主な参加者の入れ替わりがされていった印象です。

今年はグループ交流会を皮切りにスタートしました。今回は GOP にまだ参加したことがない方も参加され、今までの参加者から活動の様子を聞きイメージを膨らませることが出来たことにより、本編への参加も入りやすかったのではないかと思います。

ボランティア活動のプログラムでは、ギラヴァンツ北九州のスタッフの方々、ギラヴァンツ北九州のボランティアに参加されている方々に、作業を教わる形で関わっていただけ、地域の方々と触れ合える機会にもなりました。

観戦講座では、皆さん楽しく見ておられたなと思います。アンケート結果にもサッカーの試合についてのコメントが、いつもより多く見られたように思います。

運動体験では、最初はゆっくりのスタートでしたが、最後の真剣勝負は、サッカー経験者は見せ場と頑張り、未経験者も必死でボールを追いかけて、息を切らせながら走っておりました。また、新型コロナウイルス流行のため参加を控えていた方々も、今年から運動体験に参加を再開してくれています。

また今年の印象的な出来事としては、GOP を知ったのは当センターのホームページからではなく、ギラヴァンツ北九州のホームページで知り、GOP への参加、相談に繋がった方もおられました。すてっぷという入り口だけでなく、ギラヴァンツ北九州という入り口からも、すてっぷに繋がるルートが確認できた出来事でした。

【2023 年度 GOP-J（ジュニア）活動内容】

Ⅰ. GOP-J あいおい教育支援室ミクスタ見学&運動体験

〈日 時〉2023 年 9 月 8 日（金）10：00～13：30

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈参加者〉①対象児童生徒 17 名 ②教員 7 名 ③GOP サポートメンバー 2 名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 3 名

参加総数 ①+②+③+④= 29 名

・ミクスタピッチを背景に記念撮影



・選手のロッカールーム見学



・W-up 場にて運動体験



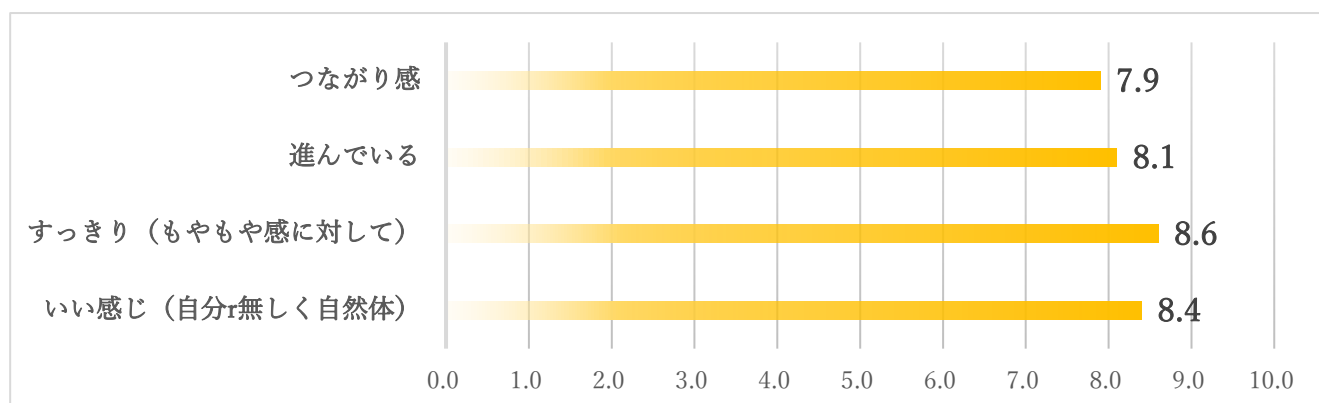
・運動体験



・ミクスタピッチで運動体験

・ミクスタピッチで運動体験

〈参加対象者 17 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：8.3

〈所感〉

残暑が厳しい中でのミクスタ見学＆運動体験であったが、子ども達からは、とても元気で積極的に本イベントへ参加する姿勢が観られた。特に施設見学では多くの生徒からたくさんの質問がでた。運動体験でも、生徒たちの笑顔と互いの声援が溢れた、とても学校に行っていない子ども達には見えない姿であった。

アンケート結果にも現われているように非常に高い満足度となった。ちなみに昨年のあいおい教育支援室の平均ポイントが7.3であったのに対して、今年は8.3と1ポイントも向上していた。本年度、最も高いポイントを獲得した（満足度が高い）教育支援室となった。

〈アンケート記述回答例 ―児童生徒〉

- ・スタジアム内の減多に行けない所にも行けて、サッカーに興味が出てきた。
- ・なかなかできない体験ができてうれしい。
- ・思ったよりも会場の中が広がったのでびっくりした。
- ・外国の選手も来ていることが分かった。
- ・部屋の一つ一つが新品みたいに綺麗だった。
- ・スタジアムの中の案内にとってもワクワクした。
- ・スタジアムは、遠くからでも端から端が見えるから、ここで試合を観てみたいと思った。
- ・動くことが気持ちよかった。
- ・かなりきつかったが、楽しかった。
- ・疲れたけど楽しかった。
- ・今までサッカーをあまりやることがなかったけど楽しかった。
- ・サッカーは、仲間と協力して点を取り合う楽しいスポーツだと感じた。
- ・体を動かして遊ぶのは楽しいと感じた。
- ・運動体験がとても楽しかった。
- ・コーチたちが優しく面白くサッカーを教えてくれたのでとても楽しむ事ができた。
- ・教えてくれるコーチの人が明るく、前向きになった気がする。
- ・コーチたちにサインをもらえて嬉しかった。
- ・また参加したい。
- ・またこのような体験をしたい。

〈アンケート記述回答事例 ―教員〉

- ・初めての体験ばかりで本当に嬉しく思いました。子ども達の楽しそうな笑顔が印象的でした。
- ・毎年来ても開放的で施設の見れない部分も見せて下さり、子どもにとってとても良い体験になっています。運動が苦手な子どもでも楽しめるようにして下さって有難いです。
- ・子ども達が楽しそうに参加している姿を見ることが出来て良かったです。
- ・スタジアム見学、運動体験ともに生徒立の目の輝きがありました。有難うございました。
- ・とても楽しかったです。またやりたいなと思いました。子ども達もとっても楽しそうで、見ていて嬉しかったです。

2. GOP-J わかぞの教育支援室ミクスタ見学&運動体験

〈日 時〉2023 年 10 月 20 日（金）10：00～13：30

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈参加者〉①児童生徒 20 名 ②教員数 7 名 ③GOP サポートメンバー 3 名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 3 名

参加総数 ①+②+③+④= 33 名

・VIP ルームから写真撮影



・記者会見ルーム見学



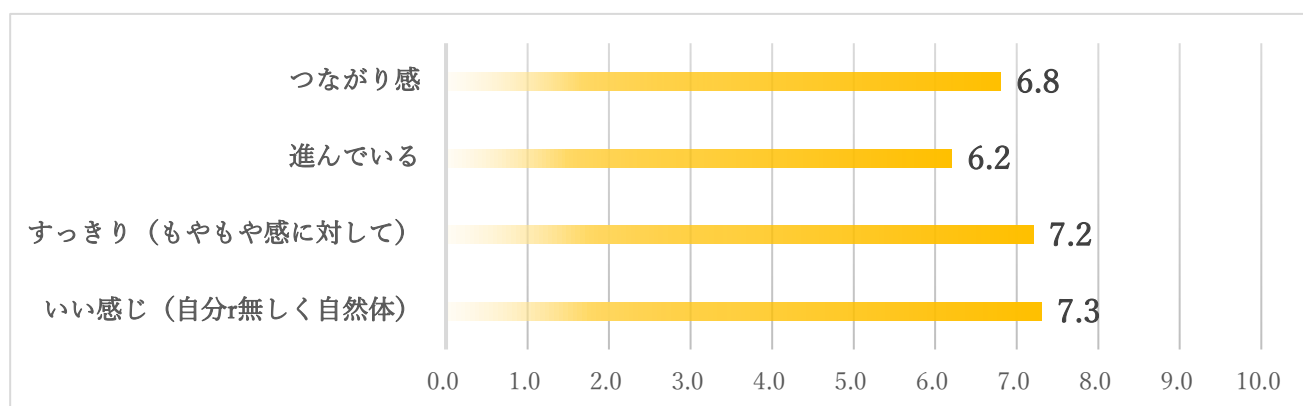
・運動体験



・運動体験



〈参加児童生徒 19 名アンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：6.9

〈所感〉

この日は、残念ながら朝から雨天となり、予定していたミニワールドスタジアムから 300m 離れた場所に位置するあさの夕風公園での運動体験は、実現できなかった。運動体験は、例年通りウォーミングアップ場での開催となった。

スタジアム見学では、初めて観る景色、施設、部屋等の説明に興味深く話を聞く、児童、生徒の姿を確認できた。運動体験では、児童、生徒の笑顔や笑い声が溢れ、とても楽しそうに運動に参加していた。

〈アンケート記述回答例 ― 児童生徒〉

- ・楽しかった。
- ・色々な部屋を丁寧に教えてくださって凄いな、と思った。
- ・建物のつくりなどを知って、いろんなところで工夫がされているんだなと思った。
- ・一般の人が全く入れない部屋には入れて嬉しかった。
- ・普段は、行けない所に行けて、嬉しかった。
- ・建物内を見学したり、観覧席に座ってみたり、関係者の方々が丁寧に案内してくださったので、建物内の設備などがすごくわかりやすかった。
- ・運動で人がつながるんだな、と思った。
- ・楽しかった。
- ・すごく楽しかった。
- ・サッカーを体験できてとても楽しかった。
- ・久しぶりにサッカーをして楽しかった。
- ・コーンにボールが当たって嬉しかった。
- ・鬼ごっこやボール遊びもできて楽しかった。
- ・久しぶりにたくさん動いて汗もかいた。身体を動かす機会にちょうど良いと思う。
- ・またやりたい。
- ・ちょっと疲れたけど楽しかった。
- ・体を動かすと心地よいこと、協調性などを養うことができた。
- ・体を少し動かしたので、スッキリした気持ちでプログラムを受けられた。
- ・ボールのコントロールがむずかしかった。
- ・コーチの説明がわかりやすくて楽しかった。
- ・スタッフが、みんなはなしがしやすかった。

〈アンケート記述回答事例 ― 教員〉

- ・無理なく、楽しく過ごすことができました。テンポの良いプログラムでわくわくしながら運動ができたのが良かったです。
- ・ちょうど良い運動量で子ども達も楽しんでいた！コーチの説明も分かりやすかったです。
- ・大変良い機会をありがとうございました。不登校の子ども達は、なかなかこのような体験ができません。貴重な体験も含め、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・普段入ることができない施設には入れたことやサッカーに興味のない子ども達にも運動体験を通して楽しさを知ることができたのは、貴重な体験だったと思います。
- ・初めて施設内を見学させて頂きました。普段入れないお部屋には入れて感動です。運動体験も心地よい疲れてとても楽しかったです。

3. GOP-J くろさき教育支援室スペース LABO 見学&運動体験 in ギラパーク東田

〈日 時〉2023 年 10 月 24 日（火）10：00～13：30

〈会 場〉THE OUTLETS KITAKYUSHU 内スペース LABO 及びギラパーク東田

〈参加者〉①児童生徒数 15 名 ②教員数 8 名 ③GOP サポートメンバー 3 名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 2 名

参加総数：①+②+③+④= 28 名

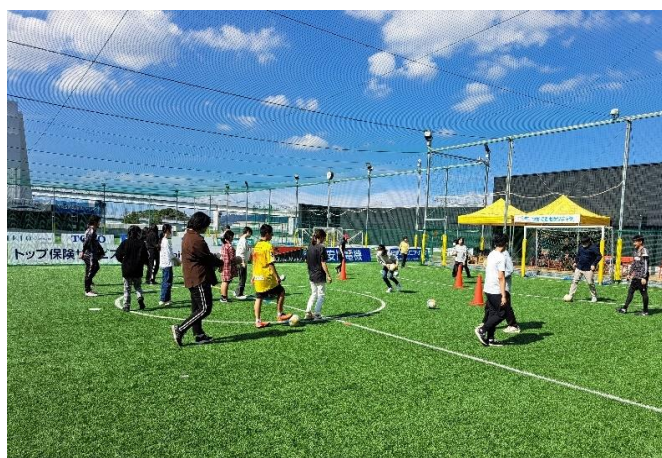
・スペース LABO 見学



・プラネタリウムで「ハナビリウム」観賞



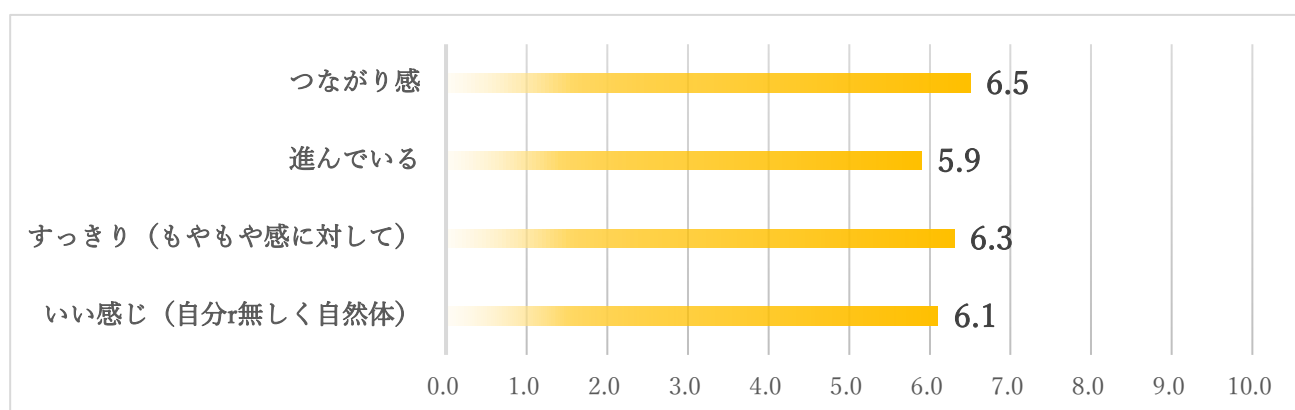
・ギラパーク東田で運動体験



・ギラパーク東田で運動体験



〈参加児童生徒 15 名アンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：6.2

〈所感〉

5年目を迎えた GOP-J 活動にて、今回、初めての試みとしてミクスタ見学をスペース LABO 見学へ、運動体験をスペース LABO に隣接するギラパーク東田（ギラヴァンツ北九州が運営するフットサル場）にて開催した。狙いは、スタジアム見学を科学館見学に変えることで科学に興味を持つ子ども達への参加促進とギラヴァンツ北九州が運営するギラパーク東田での運動体験という新しいプログラムを試すことであった。

アンケート結果からは、他の教育支援室の結果と比べて低い数値となっていること、スペース LABO の見学に関する感想（記述）がなかったことが明らかとなった。原因として考えられるのは、多くの参加児童生徒が、すでにスペース LABO に行ったことがあるのではないかとということが考えられる。実際に北九州市内の小学生は、4年生になると北九州市科学館（スペース LABO）を見学するプログラムが組まれていることが分かった。

運動体験は、天気にも恵まれ、参加者の笑顔や歓声が溢れるとても楽しい雰囲気が確認できた。まだ完成して2年目の新しい人工芝のコートは、参加者の児童生徒にとって自然に体を動かしたくなるような素晴らしい環境であった。

〈アンケート記述回答例 一児童生徒〉

- ・たくさん動いて疲れたけど、楽しかった。
- ・楽しく活動することができて良かった。
- ・協力したりして楽しかった。
- ・運動できて楽しかった。
- ・もう少し運動できればよかった。（運動強度への解答「3」の回答者：「5」が調度良い）
- ・まだまだ運動をしたかった。（運動強度への解答「3」の回答者：「5」が調度良い）
- ・綺麗なコートで楽しく運動ができて良かった。
- ・蹴るのがむずかしかったけれどとても楽しかった。
- ・ボール投げとボール蹴りでは負けたけど楽しかった。
- ・サッカーって難しいと感じた。
- ・元々サッカーに興味があったので楽しかった。



4. GOP-J かなだ教育支援室ミクスタ見学&運動体験

〈日 時〉2023 年 10 月 25 日（水）10：00～13：30

〈会 場〉ミニワールドスタジアム北九州及びあさの汐風公園

〈参加者〉①児童生徒数 **21 名** ②教員数 7 名 ③GOP サポートメンバー 1 名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 3 名

参加総数：①+②+③+④= 32 名

・VIP ルームからの景色



・メインスタンドでお昼ごはん



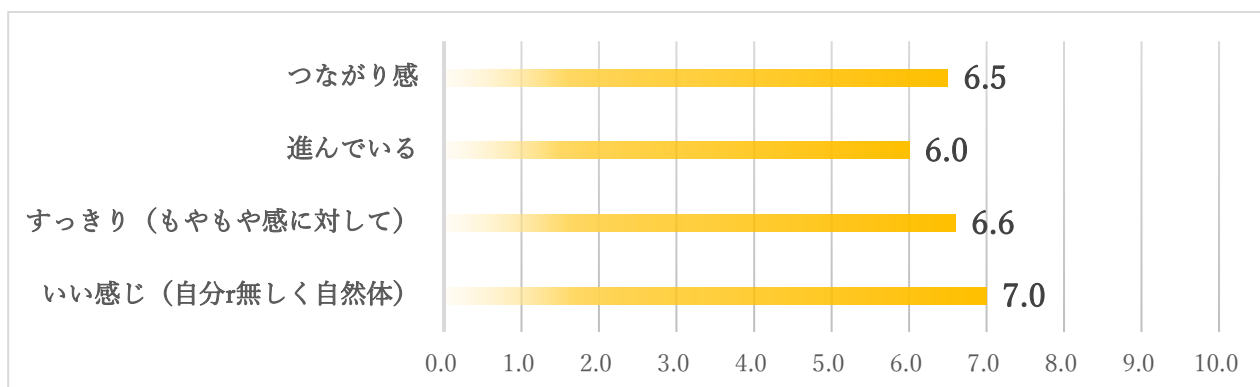
・あさの汐風公園で運動体験



・あさの汐風公園で運動体験



〈参加児童生徒 21 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：6.5

〈所感〉

GOP-J ミクスタ見学&運動体験への各教育支援室からの参加者数は、年々増加傾向にある。今回のかなだ教育支援室のケースは、一つのエデュケーション支援室からの参加児童生徒数が初めて20人を上回った。送迎は、マイクロバス2往復での対応となった。

運動体験は、通常であればミクスタ内にある選手のウォーミングアップ場で開催するところを、今回初めてミクスタから300m程離れたあさの汐風公園（天然芝の公園）にて実施した。狙いは、室内よりも室外の広い空間で運動体験をすることで参加者の満足度を上げることであった。素晴らしい秋晴れの中で実施した運動体験には、児童、生徒もかなり積極的に参加する姿勢が観られ、大いに楽しんでいた。しかし、アンケート結果には、室内での運動体験との差は確認できなかった。

〈アンケート記述回答例 ―児童生徒〉

- ・減多に来られないスタジアムの施設に来られて良い経験になった。
- ・スタジアムには、たくさんの部屋があってちゃんと決められた部屋に入っていて、とても大変そうだなと思った。
- ・広いと思った
- ・サッカーを観に来たことはあったけど、今回は、選手が待機する場所などを観られて凄いと思った。
- ・サッカーボールを使って運動することがあまりないから楽しかった。
- ・運動が苦手だったけれど、体を動かすのは楽しかった。
- ・体を動かすのは苦手だけれど、簡単なゲームばかりで楽しかった。
- ・いい運動になった。
- ・ボールを使った運動が楽しかった。
- ・サッカーは意外と楽しい、と思った。
- ・運動ができて楽しかった。
- ・サッカーの試合をしてみたいと思った。
- ・活動の遊びを少しだけでもいいのでもっと増やして欲しい。
- ・活動はたのしかったが、“つながり”は、感じられなかった。
- ・久しぶりの外での運動だったので少し暑かった。キツイなとは思っていたけれど楽しく活動に取り組む事ができたのでよかった。
- ・久しぶりにボールを使って運動をした。みんなと協力して楽しめて良かった。
- ・サッカーボールを使って運動することが減多にないので、サッカーボールを使ってみんなと運動できて楽しかった。
- ・運動を習慣にしていきたい。
- ・軽く運動をして気持ちが少し晴れた。いつもとは違う感じの運動で楽しかった。

〈アンケート記述回答事例 ―教員〉

- ・秋の日差しの中で体を動かせたことは、良かったと思います。日頃外での活動が少ないので子ども達にも良かったのではないのでしょうか。とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・普段見られない場所を観られて嬉しかったです。オーシャンビュー最高でした。日差しの下、汗ばむくらい「運動した」感じが心地良かったです。
- ・普段は入れない場所を見せていただける特感を子ども達と一緒に味わえて嬉しかったです。ギラヴァンツ頑張ってください！

- ・運動に苦手さを感じている生徒が多い中、親しみやすい雰囲気作りをしてくださり、子ども達の笑顔や笑い声をたくさん聞くことが出来て嬉しかったです。
- ・外で見ていたので参加できれば良かったと思いました。子ども達が思いのほか元気にプレーできていたのが嬉しかった。今後もよろしくお願いします。
- ・スポーツは、するものという認識だったのですが、それを支える人、つくる人、みる人、そしてビジネスの側面と、多様な見方、考え方に触れることが出来、とても良かったです。



【各教育支援室ミクスタ見学&運動体験 総評】

(1) 参加者数

4つの教育支援室の参加児童・生徒総数は73名であった。参加教員総数は29名であった。従って各教育支援室の合計参加者数は、102名となった。

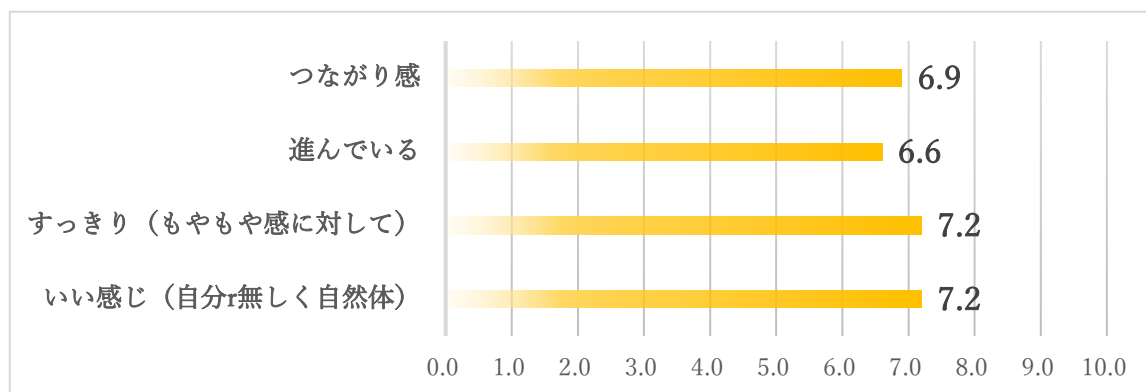
昨年と比較してみると、参加児童生徒総数は18名増加しており、この5年間で毎年増加傾向が続いているが、本年度は、かなりの増加率(33%)となっている。GOPサポートメンバー及びギラヴァンツ北九州コーチを加えたミクスタ見学&運動体験の参加者総数は122名となった。昨年より21名の増加となった。

参加児童生徒の増加理由として考察されるのは、教育支援室へ通う児童、生徒の数が増えていること、及び各教育支援室において本事業への関心が年々高まっていることが推測される。

教育委員会からいただいた資料によれば、実際の北九州市内全教育支援室(4室)へ通う小学生、中学生の人数の推移は、2021年度(4月~3月)が270名、2022年度は285名、そして2023年度は、1月末時点で301名と、年々増加傾向にある。教育支援室に通っていない不登校児童生徒の数は、把握できていない。

(2) アンケート調査

▶4 少年支援室からの参加児童生徒(全73名)の各質問項目の平均値



「全く感じない」～「すごく感じる」を0～10までの数値で表したもの 平均：7.0

昨年は、初めて運動体験をミクスタピッチで実施することができたが、残念ながら本年度は、芝生の管理上の問題で使用が叶わなかった。また、くろさき教育支援室が初めて施設見学をスペース Labo(北九州市科学館)で開催し、運動体験を隣接するギラパーク東田(ギラヴァンツ北九州が管理運営するフットサル場)にて開催した。前述している通り、くろさき教育支援室の新たな試みはアンケート結果が予想に反して低い値になった。理由は、殆どの児童、生徒は、すでにスペース Labo は、見学した経験があったのではないかと推測される。

以上の理由が、本年度のアンケート調査の平均ポイントが昨年の7.6から7.0ポイントへ引き下げた要因ではないかと推測される。

5. GOP-J サッカー観戦&ボランティア体験

〈日 時〉2023 年 11 月 11 日 (日) 11:30~16:30

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈スケジュール〉 11:40~12:20・・・ゴミ拾い (小倉駅からミクニワールドスタジアム)

12:30~13:10・・・観戦講座 (記者会見室)

14:00~16:00・・・観戦体験 (ギラヴァンツ北九州 v s FC 相模原戦)

〈参加者〉①参加対象児童生徒 25 名

内訳：小学生 8 人 (男子 4 人、女子 4 人)、中学生 3 人 (男子 1 人 女子 2 人)、
高校生 14 人 (男子 8 人 女子 6 人)

②参加対象家族・引率者 18 名 (福岡県警 4 名を含む)

③GOP-J サポートメンバー 20 名 (小倉東 RC 16 名 + GOP サポートメンバー 4 名)

参加者総数：①+②+③= 63 名

・ スタジアム周辺ゴミ拾い (ボランティア活動)



・ 小倉東ロータリークラブ 加賀美靖之会長挨拶



・ 観戦講座 大石選手 (左) と平山選手 (右)



・ 観戦講座 参加者による横断幕の作成風景



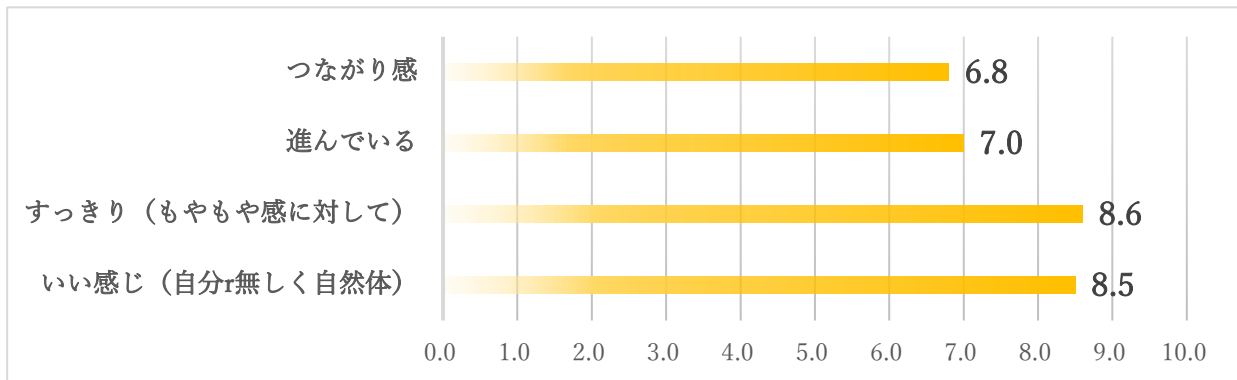
・ 圧倒的にギラヴァンツに偏った実況と解説



・ 参加者が作成した横断幕を掲げる

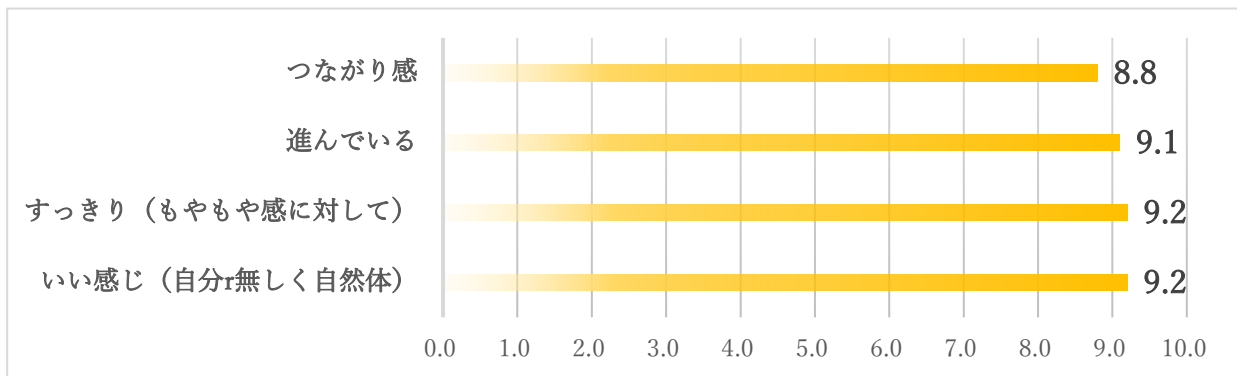


〈参加対象児童生徒 25 名中、回答者 22 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：7.7

〈参加対象児童生徒の家族及び引率者 18 名中、回答者 15 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：9.1

〈所感〉

ボランティア体験としてのゴミ拾い活動は、小倉駅をスタート地点とし、参加者を 3 つのグループに分け、3 つの異なるコースでゴミを拾いながら 40 分を掛けてミクスタに到着した。

ゴミ拾い終了後、参加者は記者会見室に集まり、サッカーを楽しく観戦するための観戦講座を受けた。また、観戦講座の途中、ギラヴァンツ北九州の大石選手と平山選手のサプライズ登場があり、参加者の方々からの質問を受けた。

今回は、初めての試みとして、観戦講座の会場（記者会見室）にて参加者の人たちに横断幕づくりにチャレンジしていただいた。狙いは、参加者のイベントへの参加意識の強化であった。20 分という限られた時間内で、参加者一人一人に黄色の画用紙を配布し、マジックで文字を入れていただいた。書き終えた文字入り画用紙をテープで繋ぎ、試合会場で参加者の皆さんが掲げた（横断幕掲載写真参照）。横断幕の文言は、「私たちは、スポーツの力を信じています」「ホームで有終の美を飾ろう！」「最後の最後まで戦い抜こう！」であった。時間が限られていたこともあり、なかなか出来栄は綺麗ではなかったが、観客の誰かが写真を SNS に上げて頂き、多くの“いいね”をいただいていた。

観戦体験では、今回も参加者の皆様は、一人一人がレシーバーを付け、ギラヴァンツに偏った実況と解説を聞きながらの観戦となった。

試合は、立ち上がりからギラヴァンツ北九州が猛攻をしかけ、前半 2 分、若谷選手が J 初得点を決めると、7 分にも岡田選手が得点、9 分には、相手ディフェンダーが反則でレッドカード受け退場。20 分に PK で 1 点を返されるも 32 分に高選手の見事なヘディングシュートで 3 点目を奪い前半終了。後半は、立ち上がり 47 分に再び高選手が得点を奪い、72 分には、前川選手、80 分に相手選手のオウンゴールと 6 対 1 で見事な勝利を飾った。間違いなく今シーズンのベストゲームを目の前で観る事ができ、

参加者の皆様の満足度、盛り上がりは、最高潮となった。

さわやかな秋晴れの下、ゴミ拾い活動、選手も登場した観戦講座、応援したギラヴァンツ北九州の素晴らしい勝利と全てがうまく進んだイベントとなった。

アンケート調査の結果も昨年を上回る数値となったが、参加対象者（不登校児童生徒）と家族及び引率者で分けた数値では、小さくない差が出ている。

今回の参加対象者（不登校児童生徒とその家族及び引率者）総数は 43 名であった。内訳は、参加児童生徒が 25 名、その家族 13 名、引率者が 5 名であった。総参加対象者数は、43 名と昨年と同数となった。

〈アンケート調査記述例 ー参加対象児童生徒〉

- ・楽しかったです。楽しかった。
- ・6 点も入ったのがすごいなと思いました。面白かったです。
- ・初めて会場にきてサッカーはこんなにも面白いことを知りました。
- ・サッカーの試合を初めて見て、応援のすごさにおどろいた。
- ・私が今日勝てますか？と質問をして「勝ちますよ」と言われました。
- ・ギラヴァンツ最高！！
- ・ギラヴァンツがすごく強かった。

〈アンケート調査記述例 ー家族及び引率者〉

- ・選手一人ひとりのサッカーへの想い、一生懸命さがすごく伝わる素晴らしい前向きになれる試合でした。また、実況のおかげで 2 倍楽しむ事ができました。
- ・いつもこんな試合が見たい！！いつもと違うチームみたいだった。また見に来たい。
- ・初めて試合を見て、生で見る迫力があり、とても楽しかったです。選手の生の声も聞くことができ、ギラヴァンツをととても感じる事ができました。
- ・試合がとても良い試合でとても楽しかったです！股抜き？のあとのOWNゴール、びっくりしました。来シーズンも楽しみにしてます。
- ・ゴミ拾いもたまにするとよい気持ちです。
- ・今日一日とても良い刺激になったようです。有難うございました。
- ・すばらしい！！初めてサッカーを観戦しましたが、こんなに素晴らしいなんて感動しました！！ギラヴァンツ最強です。サポセンスタッフ 4 人も感動していました。必ずまた応援に来ます！
- ・いつものように煙草のスイガラが多い。
- ・期待できる。
- ・参加型で子ども達も楽しめたと思います。
- ・いい経験でした。またよろしくお願いします。

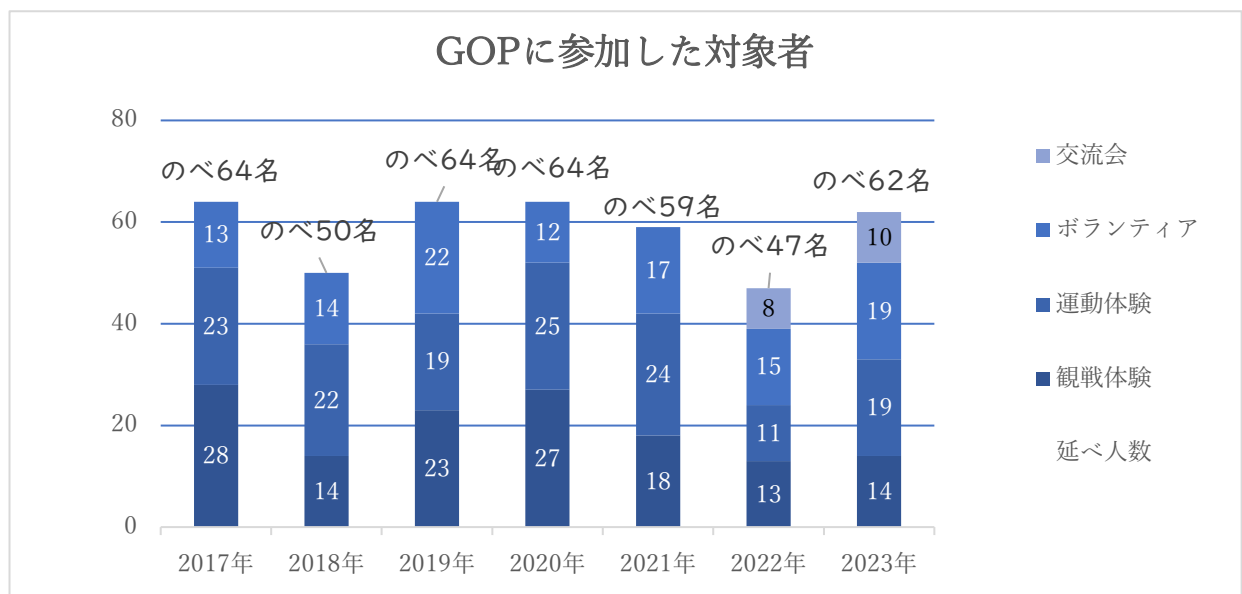
【GOP、GOP-J 活動総括】

イベント参加者数

【GOP】 2023 参加者数

- ① 対象者数（ひきこもりがちな人）：延べ 47 ⇒ 62 名
 - ② 支援者数（GOP メンバー及び施設関係者）：延べ 44 ⇒ 47 名
 - ③ 参加総数(①+②)：延べ 91 ⇒ 109 名
- ※イベント実施：全 5 回

参加者推移

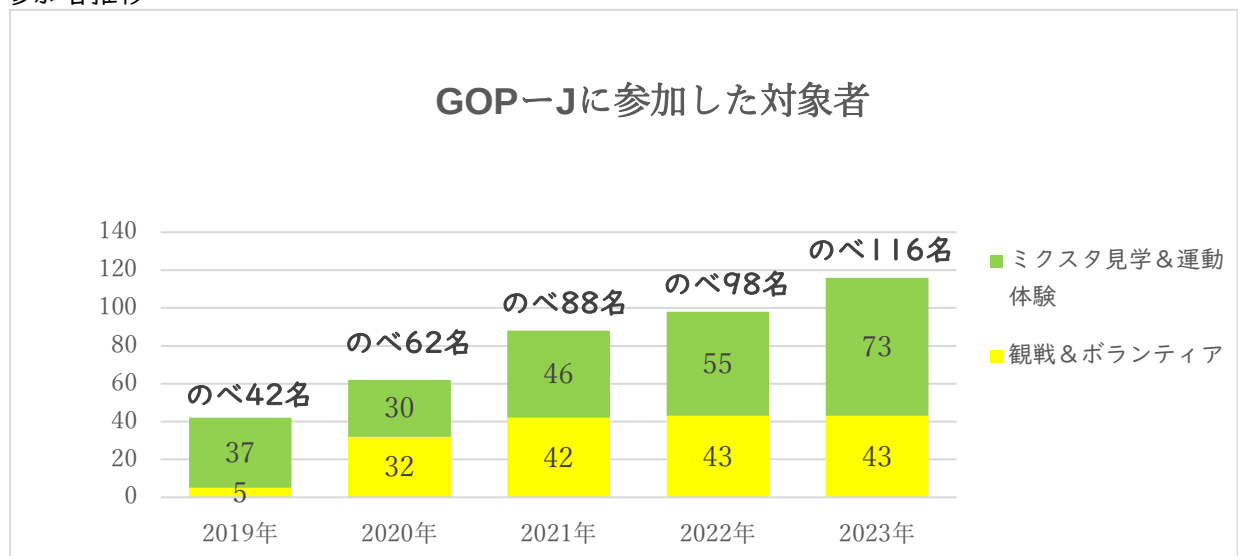


※交流会は 2022 年から実施

【GOP-J】 2023 参加者数

- ① 対象者数（不登校児童生徒及び家族）：延べ 116 名
 - ② 支援者数（教員+GOP サポートメンバー）：69 名
 - ③ 参加総数（①+②）：延べ 185 名
- ※イベント実施：全 5 回

参加者推移



【GOP+GOP-J】 2023 合計参加者数

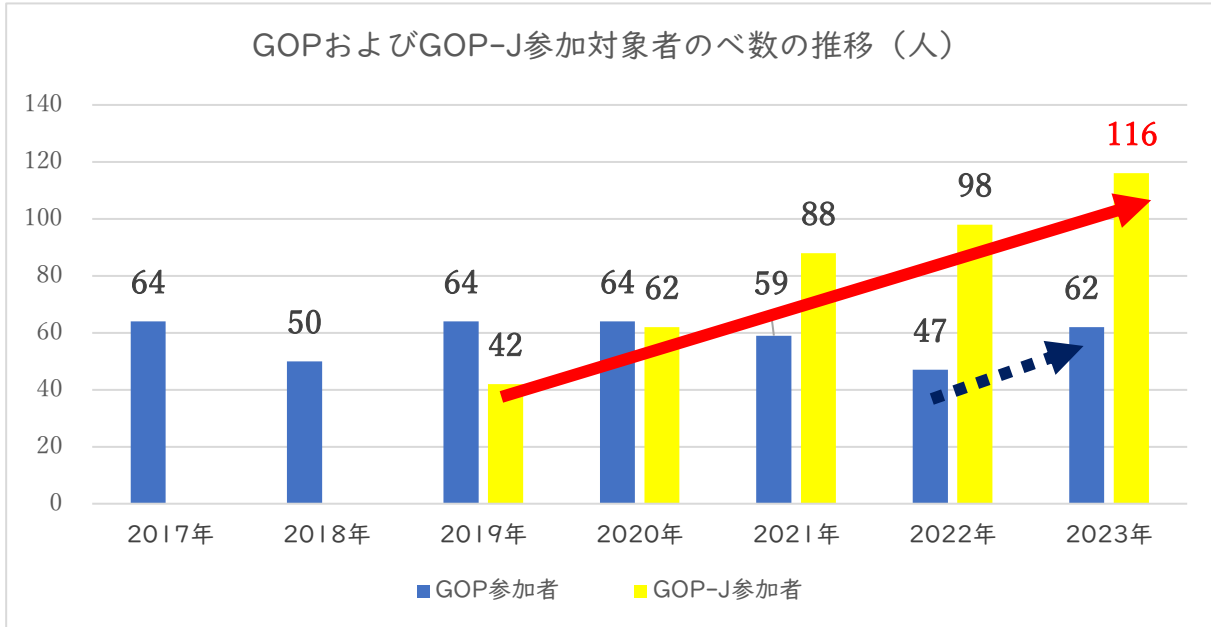
① 対象者数：延べ **178 名**

② 支援者数：延べ 116 名

③ 参加総数：延べ 294 名

※実施イベント合計回数：10 回

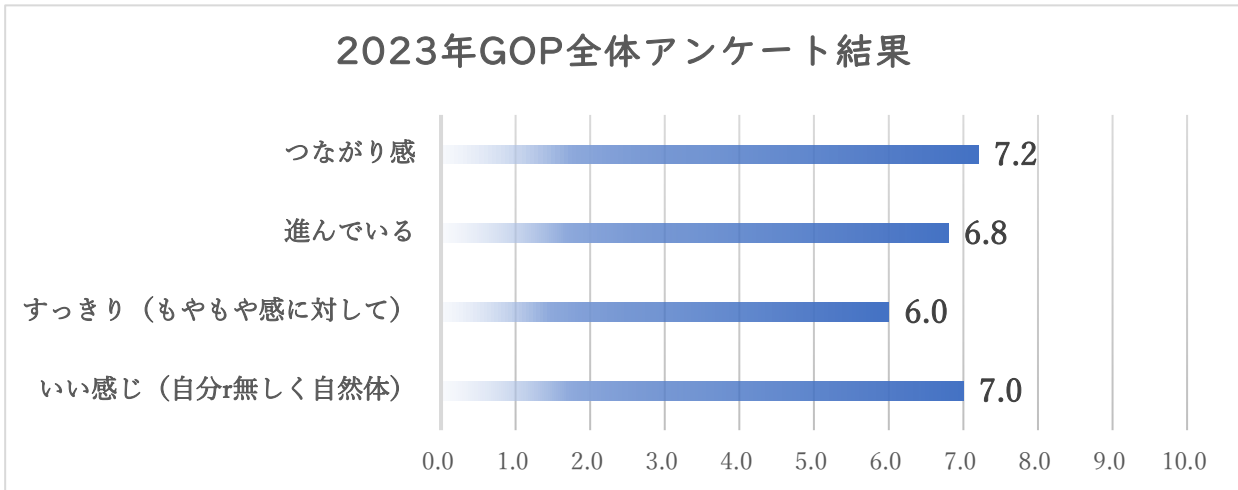
GOP および GOP-J 参加対象者（支援者は含まない）のべ数の推移（人）



- ・ GOP の参加対象者延べ数は 47 名から 62 名へと、15 名の増加であった。
- ・ GOP-J（ジュニア）では、98 名から 116 名に増加しており、昨年より 18 名の増加となった。
- ・ GOP 活動全体（GOP+GOP-J）の参加対象者延べ数は、178 名であり、昨年の 145 名より 33 名の増加となった。
- ・ サポーターも含めた GOP 活動全体の参加者延べ総数は、昨年の 250 名から 294 名へと 44 名の増加となっている。

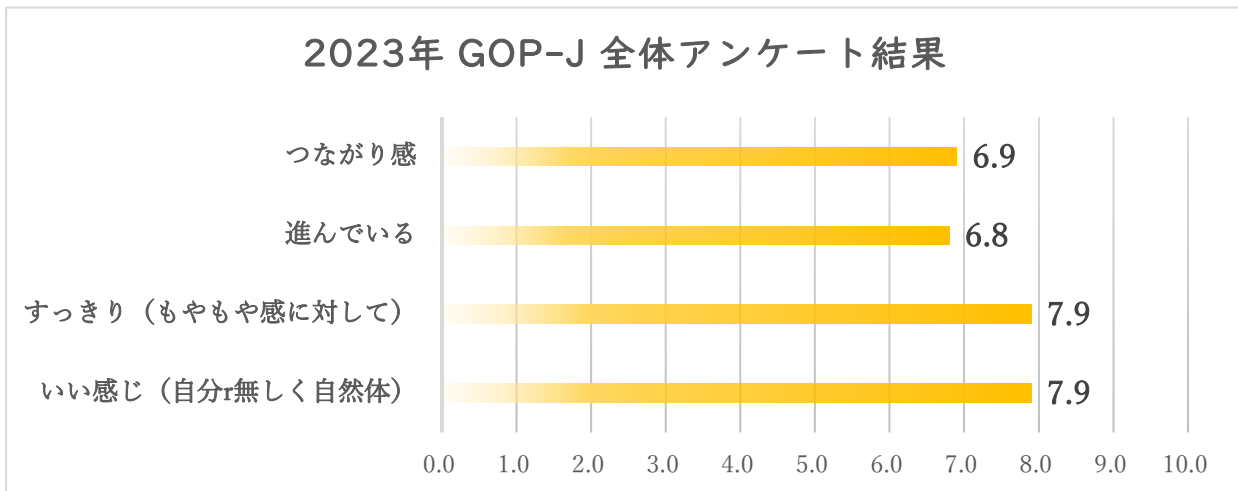
アンケート結果集約

【GOP】 2023 参加対象者数：延べ 62 名



全平均：6.8

【GOP-J】 2023 参加対象者のべ数：98 名



全平均：7.4

※記述式アンケート結果（詳細）は別添資料を参照してください

【ギラヴァンツひまわりプロジェクト】

～ with 勝山公園（TEAM 城下町小倉共同事業体）～

【概要】

本プロジェクトは、北九州市及びギラヴァンツ北九州のシンボル花であるひまわりの育成を通じて、ギラヴァンツオープンマインドプログラム（ジュニア含む）の参加者や関係者に新たな交流の場を設け、引きこもりがちな人や学校に行きづらい児童生徒が社会に関わる次のステップとなることを期待し、2022年度からスタートしました。

収穫した種は多くの人に配って拡散・循環し、咲き誇るひまわりが北九州の街や人を元気づける象徴となる未来を想うと共に、ギラヴァンツ北九州の躍進、そして平和と寛容あふれる社会の実現に寄与することを目指します。

【運営・管理】

運営はギラヴァンツ北九州と TEAM 城下町小倉共同事業体が共同で運営する。

ひまわりの管理は勝山公園ガーデンスタッフが主に行う。

【活動内容】

ひまわりの種の植え付け

〈日 時〉6月10日（土）10：30～11：00

〈場 所〉勝山公園グリーンエコハウス隣の特設花壇（約12m×1m）

〈参加者〉GOP 参加者3名、GOP サポートメンバー4名、TEAM 城下町小倉3名、ギラヴァンツ1名
合計：11名

・6月10日（土）勝山公園スタッフの指導の下、ひまわりの種（約60個、去年の種も含む）を植え付け



・6月28日 ひまわりの発芽



・7月20日 順調に育っています



・8月7日 かなり大きく育っていて蕾を確認



・8月18日 大きな花が咲き始めました



ひまわり開花撮影会

〈日 時〉8月26日(土) 12:30～

〈場 所〉勝山公園グリーンエコハウス隣の特設花壇(約12m×1m)

〈参加者〉GOP 参加者 0 名、GOP サポートメンバー 3 名、TEAM 城下町小倉 1 名、ギラヴァンツ I 名
合計: 5 名

・8月26日 ひまわり開花撮影会



〈所感〉

今年は、ひまわりの栽培場所を変更した。理由は、昨年の栽培場所の水回りが良くなかったためである。TEAM 城下町小倉の皆様に、勝山公園グリーンエコハウスの隣に特設花壇を作っていただいた。お蔭様で昨年に比べ、今年のひまわりは、とても良く育ち、3m～4mの高さに成長すると共に大きな花を咲かせた。心配だった昨年の種も発芽し、しっかりと来年のひまわりに繋げる事ができた。GOP サポートメンバーの馬場様、丹羽様の家のひまわりもしっかりと花を咲かせた。3年目となる2024年度へ繋がるひまわりの種もしっかりと採取できたようだ。

TEAM 城下町小倉のガーデン管理の専門家の皆様、特に御園様には、大変お世話になりました。2024年は、より多くの方々にご自宅でひまわりを育てて欲しいと考えています。

平和と寛容な社会の創造のシンボルとしてのひまわりプロジェクトは、ギラヴァンツ北九州の応援の意味も含めて、これから色々な方向に拡散していけると考えている。

添付資料

【記述式アンケート調査】

GOP

- ・ サッカー観戦体験 ・ ホームゲームボランティア体験
- ・ 運動体験

GOP-J（ジュニア）

- ・ あいおい教育支援室 ミクスタ見学&運動体験
- ・ わかぞの教育支援室 ミクスタ見学&運動体験
- ・ サッカー観戦&ボランティア体験
- ・ くろさき少年支援室 スペース LABO 見学&運動体験 in ギラパーク東田
- ・ かなだ教育支援室 ミクスタ見学&運動体験

【募集案内チラシ】

- ・ GOP 募集案内
- ・ GOP-J 観戦体験&ボランティア活動募集案内

GOP サポートメンバー紹介

GOP 会議に参加しイベントにご協力いただいた方々（敬称略）

- ・ 田中美穂、下川裕司、鶴田かず美、吉村弘子（北九州市ひきこもり支援センターすてっぷ）
- ・ 加賀美靖之 栗山亮太、濱田時栄、宮本浩二、釘宮和也、他（小倉東ロータリークラブ）
- ・ 中川康文、御園和穂（TEAM 城下町小倉）
- ・ 山脇直祐（8K、響都創研）
- ・ 成重敏夫（フリーライター・キタキュースタイル編集長）
- ・ 馬場京子（八幡東区民生委員）
- ・ 植松寿美（精神保健福祉士、北九州市ユースアドバイザー）
- ・ 是永潤一、丹羽絵美（株式会社エイジェック）
- ・ 須川新太郎（西日本青少年教育支援センター）
- ・ 西田千夏（ぽぽんたの会）
- ・ おやすみ処 ami 実行委員会
- ・ 國本知津（NPO 法人抱樸相談支援員）
- ・ 西園良子
- ・ 安田すみれ
- ・ 下田功、武藤克宏、江頭慶士郎、梶原タ希也、他（株式会社ギラヴァンツ北九州）

2023 年度 GOP 活動報告書

| 作成日

2024 年 2 月吉日

| 作成者

株式会社ギラヴァンツ北九州（北九州市小倉北区浅野 3-1-26）

普及事業本部 本部長 下田 功